

ここからはがしてください。

《1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。》

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

《1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

〔特記欄：〕

署名年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人署名(自筆)： _____

家族署名(自筆)： _____



臓器提供意思表示欄の記入方法

既にたくさんの人が臓器提供に関する意思を表示しています。

それは、自分が助ける側にも、助けられる側にもなり得るから。あなたも、表示しませんか？

Step 1

Step 2


Step 3

Step 4

Step 1

自分の意思を選択

1~3いずれかに○をしてください。どの意思も等しく尊重されます。



Step 2

(1,2を選んだ方のみ)

提供したくない臓器を選択

提供したくない臓器があれば×をしてください。

脳死後に提供できる臓器
心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球

心臓が停止した死後に提供できる臓器
腎臓・膵臓・眼球

Step 3

(1,2を選んだ方のみ)

特記欄への記入

皮膚・心臓弁・血管・骨など臓器以外も提供したい方はその旨を、また親族への優先提供の意思を表示したい方は、裏面中頁の説明をご参照のうえ、「親族優先」と記入してください。

Step 4

氏名などを記入

記入した意思は家族へ伝え、もしもの時に第三者が確認できるようにしてください。提出や郵送の必要はありません。家族署名欄がある場合は、家族から署名をもらおうと良いでしょう。

私たちにできること。

臓器を提供する。移植を受ける。

私たちはどちらの立場にもなる可能性があるから、

一人ひとりが家族と話し、

意思を表示することが大切です。

臓器提供の意思は、NOでもいい。

だから、表示してください。

あなたの“今”を。

臓器提供の流れ

1 病院に入院

◎意思は誰でも表示できるの？

意思を表示することに年齢の上限はなく、薬を服用されている方など、どなたでも表示できます。

2 医師からの
選択肢提示 or
家族からの申し出

◎意思はどのように確認されるの？

病院で最善の救命治療を受けた結果、回復の見込みがない場合、医師が家族へ病状の説明と、臓器を提供する・しないの意思確認をすることがあります。また家族が医師へ意思表示権を提示することも、本人の意思を伝えることが可能です。

3 臓器移植
コーディネーター
からの説明、

◎本人の意思は必要なの？

意思を表示することは、家族が意思決定をする際の迷いや負担を減らし、助けとなります。また提供しないという意思表示の場合、家族の決定にかかわらず提供されることはありません。

5 脳死判定
(脳死後の提供時のみ)

◎提供後、身体はどうなるの？

入院している病院で摘出手術(3~5時間)をした後は家族の元へ戻ります。傷口はきれいに縫い合わせて、外から見てもわからないようにします。その後は、通夜や拜儀など大切な方々との時間を過ごしていただけます。

6 移植を受ける
患者の選択

7 臓器の摘出手術

8 身体のお返し

◎提供は誰でもできるの？

がんや全身性の感染症で亡くなられた方は提供できないなど、実際の臓器提供時に医学的検査をして判断します。これまで0~70歳代の方からの臓器提供が行われています。

脳死ってなに？

脳死とは、脳の全ての働きがなくなった状態です。どんな治療しても回復することなく、人工呼吸器などの助けがなければ心臓は停止します。回復する可能性がある植物状態とは全く別の状態です。



正常な脳



全脳死



機能喪失部分

大脳

知覚、記憶、感情
など心の働き

小脳

運動や
姿勢の調節

脳幹

呼吸・循環機能の調節
など、生きていくために
必要な働き